

2017年3月期 決算説明会Q&A

Q: 前回公表値から上振れした理由を教えてください。

A: ①第4四半期において、スマホ製造ベンダーの生産能力増強のための設備投資やLTE-Advanced 関連の研究開発投資などで受注を獲得する局面があり、前回発表予想を上回る売上収益となった。
②営業利益については、売上収益増に伴う粗利の改善に加えて、市場停滞期への対処として経営構造改革施策を徹底したことで、前回発表予想を上回る結果となった。

Q: T&Mの2017年度の受注予想はどうなるのか？2016年度第4四半期の回復基調が継続するのか？

A: 売上高と同等の610億円とみている。上期は依然として厳しい市場環境が続くとみているが、2017年後半に立ち上がる5G関連の測定需要に期待している。

Q: 2020年以降も、5G/IoT市場が継続して成長するとみている理由は？

A: 2020年以降、5Gの量産用測定需要が立ち上がるとみている。さらに、5Gの通信インフラは、従来のモバイル通信だけでなく、自動車、IoT、スマートデバイスなどで幅広く使われることが期待されており、2020年以降も5G/IoT市場は成長すると予想している。

Q: 5G仕様策定スケジュール前倒しによる、投資計画への影響をどう見ているか？

A: 投資計画の優先順位を見極め、リソースを5G関連の新製品に重点的に振り向けることで対応していく。

Q: IoTのユースケースの一つであるAutomotive市場に対する事業機会を、どのように考えているか？

A: MWC (Mobile World Congress) 2017では自動車メーカーが多数出展していた。セルラーV2X等、Automotiveに関連する測定ソリューションを提供し、車の高度な安全走行に貢献することにより、従来の通信用市場とは異なる市場を捉え、新たな収益基盤としていく。